

福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和7年12月11日

別海町議会議長 西 原 浩 様

福祉文教常任委員長 外 山 浩 司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

記

1 開催日時

(1) 第9回常任委員会

令和7年12月10日（水）14時00分から

令和7年12月11日（木）13時50分まで

(2) 第12回常任委員会協議会

令和7年12月11日（木）14時00分から14時40分まで

2 開催場所

委員会室4

3 出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、貞宗委員、伊勢委員、吉田委員

4 欠席委員

なし

5 委員外

なし

6 調査事件及び協議結果

(1) 青少年の居場所づくりに関する基本方針について（教育委員会）・・・調査継続

ア 調査結果

青少年プラザの今後の活用について、中学生・高校生の意見聴取を行い、教育委員会内での意見集約を経て、全町的な検討委員会を設置することが望ましいとの意見が出された。

今後の具体的な活用方法に当たっては、カフェ風な静かな空間づくり・図書館的機能の設置・トイレの改善などの環境整備、施設利用ルールの見直し、多世代

共生型施設としての活用などについて段階的に整備を行う必要があるとの意見が上げられた。

また、駐輪場などの周辺環境の整備については、一部私有地があり、自由に整備できない土地があるなど課題があることも確認されたことから、地権者との協議を行い解決に向けて努力してほしい。

より実用的な運用のため、中学生や高校生を運営委員会に入れるなど、当事者の声を反映する仕組みづくりの必要性があるとの意見が複数の委員から出されたことから、実現に向けて検討していただきたい。

(2) 町立別海病院の運営について（別海病院）・・・調査継続

ア 調査結果

別海病院では発熱外来が継続されていることにより待機時間が長く、患者が中標津町や標津町の病院に通院している状況が見受けられることから、減収につながるものが危惧される。

内科の医師 1 人では、通常の外来患者もおり、発熱外来の対応には限界があることから、可能であれば中止してはどうか。

発熱外来の電話対応には 1 人当たりに時間がかかり、適切なアドバイスをするには経験も必要だと思われることから、中止できない場合であっても、多くの看護師が対応できるよう、研修会などが必要だと考える。

また、発熱外来に対する病院内での体制や動きが分かりづらいことから、明確化してほしい。

(3) ケアハウスみどり野整備事業の進捗状況について（福祉部）・・・調査継続

ア 調査結果

30 室あるが、ほぼ全室が利用されている状況が保たれているとのことから、良い状況だと言える。

空室が出た都度、チラシ等で入居者を募集しており、コンスタントに次の入居者が決定していること、また、入居待機者はいないことが確認できた。

料金は、収入に応じて 66,500 円～146,500 円の 7 段階で設定されており、特段の問題はないものと思われる。

運営状況については良好だと思われるので、今後は施設の状況を現地で確認し調査終了とする。

(4) 児童遊園地遊具等整備事業について（保健生活部）・・・調査終了

ア 調査結果

児童遊園地の安全点検は、業者に委託するほか、担当職員ので行っていた年度もあったとのこと。管理については、町内会で草刈りをして、燃料代金を支給している。

砂場について、シートを町内会に配付し、管理を依頼することも可能だと考えるので、柔軟に対応してほしい。

児童遊園地全般を通して、連合町内会や単位町内会と連携して進めてほしい。

(5) 任意予防接種助成事業について（保健生活部）・・・調査終了

ア 調査結果

町独自の任意予防接種の助成は、町民にとってはありがたく、今後も積極的に進めてほしい。

7 その他

(1) 保健生活部「ライドシェアについて」

地方公共交通計画の策定に向けて動きが出てきたが、策定までに2年間を要するとのことである。

町民の声が多くあること、尾岱沼地区の団体により独自にライドシェアが計画されていることから、早期の策定が望まれる。

なお、尾岱沼地区の団体にあっては、運営資金面で不安があるようなので、町からの何らかの支援ができるといいと考える。

(2) 1月の調査内容確認について

①日 程 令和8年1月26日(月)

10時～ 別海病院
11時(予定)～ 教育委員会
13時30分～ 保健生活部

※福祉部なし

②調査事項 別海病院 町立別海病院の運営について

教育委員会 小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について(義務教育学校の状況について)
その他報告事項として「青少年問題協議会のあり方について」

保健生活部 地域住民の広域生活交通路線の確保について(ライドシェアの捉え方について)
その他報告事項として「ごみ処理状況、ごみ袋値上げまでの計画について」

※福祉部については、1月はなし。2月にケアハウスのみどり野(別海)、ケアセンターかしわ野(西春別)の視察を予定。

8 議案審査

議案第106号「別海町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の制定について」(教育委員会所管)について審査付託を受け、慎重な審査を行った。

地方青少年問題協議会法の改正に伴い、委員構成や首長の会長要件など条例との間に齟齬が生じていることから本条例の一部改正が提案された。

加えて、いじめ防止対策推進法への対応として、重大事態の調査を青少年問題協議会が担う運用との改正内容となったが、法的根拠や組織の役割が不透明であり、整理する必要があることが指摘された。

具体的には、再調査の実施方法や、第三者委員会設置の要否、青少年問題協議会といじめ防止対策推進法上の調査機関との関係性、条例上の表現や実務運用の齟齬、独立性確保への懸念について複数の委員から指摘されたところである。

また、協議会委員には、弁護士や医師など専門家を含める方針だが、多忙を極める職業であり通常業務と協議会委員活動の両立に対する不安の声があった。

最終的には、地方青少年問題協議会法及びいじめ防止対策推進法の二つの法を一つの条例でまとめることの是非が議論され、将来的にはそれぞれの法律に基づき別々の組織として整理すべきとの意見を付す案が出された。

審査結果については、委員長報告に記す。